

2007 生命のコンサート
環境ミュージカル「そして森は生きている～わたし達の地球憲章」

ジュネーブ国連欧州本部・ハノーファー Lister Trum・
アメリカンチャーチ・イン・パリ公演における

「日本が世界に誇るリサイクル技術・環境問題への提言」等
メッセージの参加ご協力・ご協賛のお願い

2007.03



特定非営利活動法人

国際連合活動支援クラシックライブ協会

〒160-0022 東京都新宿区新宿5-7-14-202

電話:03-5775-3737 FAX:03-3226-1510

NPO法人国連クラシックライブ協会は、1991年の設立後、芸術舞台活動とシンポジウム、募金活動をベースに、国連広報活動を中心とした国際交流、青少年の育成、地域文化への寄与、伝統文化の継承、ボランティア推進活動を行っています。

2000年度、地球環境基金による助成のもと、環境保護支援・教育を目的として、環境ミュージカル「そして森は生きている」の公演をスタートし、7年目を迎えています。

2004年からは「地球憲章」の精神を伝えるためのミュージカルを創作し、東京都武蔵野市・埼玉県川口市・千葉県浦安市・神奈川県川崎市、横須賀米軍基地・沖縄県那覇市・石川県金沢市と公演を重ね、2005年にはニューヨーク国連本部において上演し、おおいに好評を頂きました。

自信を持って日本から世界への文化の発信ができると考えています。

芸術も、環境問題も、経済活動から遊離して存在できるものではありません。

しかし経済活動に隔たってもいけません。この辺が活動の中で一番難しいところです。

この作品では環境会議の劇中シーンに 実在の学者・大学教授・国会議員等の専門家の皆さまに“出演者としてその持論を聞かせていただく”という方法を取り入れ、

一般市民の環境に対する興味を膨らませるための、大きな効果をあげております。

環境問題の講演会では何の興味も示さなかった中学生たちが、

ターバンを巻いて会議のシーンに座っている校長先生、英語の台詞を担当した英語教師とともに、自らも意見を言おうと大変熱心に環境活動に取り組んでくれたこともあります。

今回のアイデアは、「活動家の皆さま・企業の皆さまが今何に取り組んでいるか」を伝えることです。

ぜひ、一般の市民、中高生に分かりやすく伝えていただきたく存じます。

日本の環境保護活動、日本企業の環境保護活動の紹介のみならず、世界の企業へも呼びかけていきます。

特定非営利活動法人 国際連合支援クラシックライブ協会

理事長 小池 雅代

「私たちは世界への扉をたたいています！」
企業の皆様・議員の皆様、“世界へのメッセージ” ぜひご協力ください！



NPO法人国連クラシックライブ協会の活動趣旨

NPO法人国連クラシックライブ協会は

1991年、波多野元国連大使、鈴木元東京都知事、土屋元埼玉県知事、H.F.ヒンケル元国連大学学長、平山元東京大学学長、山口開成元NTT会長等の皆様よりご指導を頂き、1991年活動を開始し、2000年内閣府よりNPOの認可を受けました。

1993・1997・2001・2005年の4回に渡り「日本の新しい形の国際文化交流」と位置づけ、NY国連本部・NY州立大学等にて公演を行っています。1990年シンガポール、2002年韓国公演の実績もあります。

この活動の特色は、会の主旨として、大きく4つの目的を同時に行っているということです。

- ①芸術を基盤とした国連支援の文化交流
- ②青少年の健全育成
- ③ボランティア活動参加
- ④環境保護教育支援活動

今回は「環境ミュージカル」と銘打っておりますが、

ジュネーブ国連本部、ハノーバーマークスチャーチ、アメリカンチャーチ・インパリにての公演には、国際支援活動・国際芸術活動・伝統文化継承・青少年国際交流・環境問題支援活動が全て含まれています。

現在わが国では、国際交流は外務省、環境は環境省、芸術は文化庁、青少年育成は文部科学省、

ふれあいのコンサートは厚生労働省と、それぞれの活動の担当省が分かれており、

それを越えたこの活動の支援を頂くことは大変難しく、30年に渡り大変な苦勞をしてまいりました。

活動が続いたのは、趣旨に賛同いただいた企業、及び多くの方々のご支援の賜ものです。

今回は2005年に続き国連本部から世界へ

「日本の優れた環境技術の紹介、国際的な青少年交流、日本文化の紹介」を目的に公演いたします。

小池 雅代 埼玉県出身

NPO法人国連クラシックライブ協会理事長
 (財)日本青少年文化センター理事
 (財)さいたま市国際交流協会理事
 埼玉県文化団体連合会芸能部理事
 所属 三田文学界会員 国際演劇協会会員

武蔵野音楽大学・同専攻科ピアノ専攻卒業

卒業後ピアニストとして活動すると共に、武蔵野音楽大学、白鷗短期大学にてピアノ・音楽を教える。

1970年ピアニストリサイタルデビュー。埼玉県立浦和第一女子高校院学部ピアニストとして全国優勝に貢献。東京大学白バラ会合唱団ピアニスト等合唱団活動。フランス文化センター「フランス音楽の紹介」ピアニスト、ABC交響楽団ピアニスト等多方面の活動がある。

- 1970年 音楽集団「ぐるうぶMAKI」尾花輝代允(バイオリニスト・前読売日響コンサートマスター 弟)と結成
- 1981年 青少年オペラ結成 (ヘンゼルとグレーテル・兵士の物語・女性のためのシリーズ)、読売ふれあいのコンサート等の支援を受け、公演回数
は100回を超えた。
- 1990年 シンガポール公演
(シンガポール西ライオンズクラブ協賛、シンガポールの老人ホーム支援のコンサートにてシンガポール大学オーケストラと共演)
- 1991年 「生命のコンサート」開始
- 2000年 国連クラシックライブ協会結成
内閣府よりNPO団体としての認可を受け現在に至る

受賞・研修歴

- 1983年 埼玉県文化奨励賞(ピアノ部門)
- 1985年 埼玉県文化ともしび賞
(青少年オペラ・ボランティア活動)
- 1993年 来島武彦文化賞 (青少年芸術文化育成)
- 1999年度 文化庁在外研修員
(アートマネジメント・劇場経営研修NYにて)
- 2000年 マルセイユ・国際演劇祭参加
- 2002年 ソウル市テグ市・文化交流参加
- 2004年 東欧劇場研修 プラハ・ウィーン・ブタペスト
- 2005年 博物館研修 ローマ・カイロ
- 2006年 ジュネーブ・パリ・ボン 古典・ロマン派の音楽家研修



元環境大臣広中和歌子先生・
横須賀米軍基地
コーニッシュ司令官・
廣野良吉成蹊大名誉教授と



国際連合日本政府代表部大島大使・
廣野良吉成蹊大学名誉教授と



地球憲章委員
ロックフェラー氏と

【基本コンセプト】

私たちは世界への扉をたたいています！

私たちは地球環境基金の助成のもと、6年間に渡って「地球憲章」理念の実現を目標として「環境ミュージカル」を上演しています。

公演では華やかなダンスや歌と共に、環境問題に熱心な元環境大臣広中和歌子先生をはじめとする国会議員の方々、大学教授、ニューヨーク公演では地球憲章委員のロックフェラー氏、ニューヨーク州立大学大学生、横須賀基地公演では海軍大佐コーニッシュ米海軍横須賀基地司令官など、延べ世界21カ国の方々にもご出席いただいています。今回、ジュネーブ国連本部での公演にあたり、さらに企業の方々の参加を期待しております。

「企業として環境問題にどう取り組んでいるか」は私たちもTVや新聞・雑誌等の企業広告でよく見聞きしており、省エネ・植林活動に熱心な企業も広く知られています。農業・林業・漁業といった分野は環境問題に取り組みやすいでしょう、しかし、一流企業の作り出す製品は、どのような形で生まれてくるのでしょうか。製品として環境問題に直接貢献している、たとえば某社のトイレは、水の使用量を以前より1/3減らしています。しかしその製品の製造過程は？等々、使用するときには、つぎつきと疑問が湧いてきます。一流ブランドのハンドバッグは、牛一頭から一つしか作らない。牛一頭飼育するための飼料・水があれば、人間何人生きられるかということ、国連広報センターの難民の資料のなかで見たことがあります。

ある有名ブランドの香水は85種類もの原材料からできている。その原材料は地球上の生物、動物の種の保存に影響を与えてはいないのだろうか？ 今、世界の企業は素材、製造過程などの中での環境保全もきつと考えているはずです。

その辺りを、一般市民にもわかりやすく説明していただきたいと思います。素晴らしい製品(いわば文化)を限りある地球の資源を消費しているという一面性だけで否定するのでは、人類と地球環境との真の共生とはならないと思います。

ものを大切にする、たゆまぬ改善努力を行う、四季折々の風情や「わび・さび」の趣を肌で味わうことができる、そういった素晴らしい伝統文化と、先進性を同時に持っている、私たち日本人の豊かな感性を環境保全を切り口に欧米の人々に理解を深めてもらい、環境保全の分野でも日本は重要なパートナーであることを、公演自体を楽しみながら、改めて認識してもらいたいと考えています。企業の皆様からも、新しい試みの発表の場として、また企業文化の発信の場とお考え頂き、何卒宜しくご参加いただきたく存じます。

【環境ミュージカル「そして森は生きている」 公演日程】

2007年	4月28日 【ドイツ】	ハノーファー Lister Trum
	4月30日 【スイス】	ジュネーブ国際連合本部 ホール41
	5月2日 【フランス】	アメリカンチャーチ・イン・パリ

【公演プログラム】

- 第一部 日本文化・ゲンダイの演奏家と伝統文化 * 日本舞踊など
- 第二部 環境ミュージカル「そして森は生きている」～私たちの地球憲章～
* 劇中で、環境保全のメッセージを発表させていただきます。

【出演者】

尾花輝代允：バイオリニスト。東京芸術大学卒。ルイ・グレーラー、海野義男の各氏に師事。これまでソリストとしてオーケストラとの共演をはじめ、リサイタル、放送、室内楽などでも活躍。京都市交響楽団、読売日本交響楽団、札幌交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団のコンサートマスターを歴任。著書に「バイオリンを弾こう」など。

佐藤丹玲：ピアニスト。東京音楽大学を卒業後、研究科を経てハノーバー国立音楽大学に留学。帰国後にサントリーホール小ホールにてリサイタルを行い、好評を博す。

若葉ひろみ：日舞担当。宝塚歌劇団 娘役トップスターを経て、現在に至る。

劇団YPA東京：団員5名 合唱団23 スタッフ10名参加。他にフランス、ドイツからの参加者5名、ハノーバー・ジュネーブ・パリ等の日本人会合唱団 延べ60名が参加いたします。



【環境ミュージカル「そして森は生きている」 公演実績】

- 2001年 2月 【東京】 武蔵野市民文化会館 大ホール
2002年 1月 【千葉】 浦安市民文化会館 大ホール
2003年 2月 【埼玉】 川口リリア メインホール
2004年 4月 【沖縄】 沖縄那覇市民会館 大ホール
2005年 5月 【石川】 金沢市文化ホール
10月 【茨城】 茨城大学附属中学校(招聘公演)
11月 【ニューヨーク】 NY国連本部ハマーショルド・ホール(英語公演)
NY州立大学ストーニブルック校ワン劇場(英語公演)
NYカーネギー・リサイタル・ホール(英語公演)
2006年 3月 【東京】 国立オリンピック記念青少年総合センター(英語公演) -NY帰国記念公演
4月 【栃木】 宇都宮栃木県総合文化センター
7月 【茨城】 水戸茨城県民文化センター
10月 【神奈川】 ミューザ川崎シンフォニーホール
【神奈川】 米海軍横須賀基地ベニーデッカー劇場(英語公演)
2007年 4月 ヨーロッパ公演(ドイツ・スイス・フランス)



【募集内容】

環境活動、環境支援活動の現場の皆様、企業の皆様の環境問題へのお考え、お取り組みを、ヨーロッパ公演(全3回)の劇中にて、出演者から発表させていただきます。

原稿は、国連本部を通じ国連加盟国192カ国に配布、観客の皆様への手渡しに加え、当協会ホームページにて公表させていただきたく存じます(国際連合ホームページへの掲載も予定しております)。原稿はA4にて1枚程度、日本語・英語・フランス語にてそれぞれご用意頂きたく存じます。

※原稿作成代行・翻訳代行業をさせていただくことも可能です。

※公演パンフレットへの企業様名掲載のみでもお申込み可能です。

※当公演は、ジュネーブ国連本部での記者会見を予定しております(ニューヨーク国連本部でも記者会見を行いました)

※当公演は、NHK他マスコミの取材を予定しております。

※各露出機会におきまして、企業様名の露出可否をご選択いただけます。

【ご協賛経費】

一口 50万円～ ※印刷経費等含む。



NY国際連合日本政府代表部にて



舞台からの環境へのメッセージ発表